

第2回 矢板市新庁舎整備検討委員会 会議録

【先進地視察・塩谷町】

会議名	第2回 矢板市新庁舎整備検討委員会【先進地視察・塩谷町】
開催日時	令和5年12月15日（金）午前14時00分～午後15時20分
開催場所	塩谷町役場
出席者	【塩谷町】 見形町長、庁舎建設準備室 軽部室長、吉田課長補佐 【委員】 佐貫 薫、福田 博光、渡邊 浩正、中嶋 加代子、三好 良重、村上 和雄、石崎 五百子 【事務局】 矢板市総務課管財担当
議題	1 新庁舎の概要について 2 新庁舎の整備について 3 新庁舎の特徴について 4 庁舎内の見学について
内容	1 開会 2 塩谷町御担当者様紹介 3 塩谷町見形町長 御挨拶 次の世代につなぐことのできる長持ちする庁舎を建設した。また、塩谷町は元々林業が盛んであったこともあり、木材をふんだんに利用した庁舎となっているため、その点も是非見学して欲しい。 4 議事 (1) 新庁舎の概要について、(2)新庁舎の整備について、(3)新庁舎の特徴について 塩谷町軽部室長及び吉田課長補佐より別添資料に基づいての説明 【質疑応答】 委員：（建設候補地が）議会で2回否決されたということだが、建設地をここに決めたのは、他の候補地が満足いくものではなかったということか。 塩谷町：旧塩谷高校校舎の利活用案もあったが、耐震強度が不安視され

	る部分があった。 委員：（旧塩谷高校校舎は）耐震改修して利用する計画だったのか。 塩谷町：その通りである。ただ、築年数が経っている物件であるため、維持管理等の費用対効果を勘案し、新設の方針となった。 委員：先ほど駐車場を見学し、以前の庁舎と比較し駐車台数が多く確保されていると感じた。 塩谷町：検討委員会の中で、災害想定もした台数を用意するように示されていたため多く確保した。また、隣地の調整池にも車を止められる想定をしている。 事務局：この場所は、ハザードマップ上は0.5メートルから3メートルの浸水想定区域に該当しているが、その点も議会の方で指摘があったのか。 塩谷町：荒川が氾濫した際のリスクについて指摘があった。建設地の決定については、5か所の候補地でメリットデメリットを整理して比較した。その結果、浸水時の対策をしっかりと講じるということでこの場所での庁舎建設を決定した。また、ハザードマップ上は0.5メートルから3メートルの浸水想定区域に該当しているのに盛り土が1.8メートルであるのには理由がある。学識経験者にこの場所での浸水想定をピンポイントで算出してもらい、それを参考に盛り土の高さを定めた。 (4) 庁舎内の見学について 塩谷町軽部室長及び吉田補佐の案内により庁舎の見学（別添写真参照） 5 その他 特になし。 6 閉会
--	--